

《国道47号 新庄酒田道路》

しんじょうふるくち
「新庄古口道路」開通1年後の整備効果
～ 地域のアクセス性向上、高規格道路のネットワーク化進展 ～

しんじょうふるくち
国道47号新庄古口道路(延長10.6km)が令和6年12月7日に全線開通※しました。
この度、開通1年後の交通状況変化と、地域のアクセス性向上および高規格道路ネットワークの進展による整備効果をとりとめましたのでお知らせします。

※平成27年11月:2.4km開通、平成30年7月:2.2km開通、令和6年12月:6.0km開通

<交通状況>

- ・新庄古口道路・国道47号の断面交通量は、10,800～12,900台/日となり、全線開通前と比べて2,400～4,500台/日増加。
- ・並行する国道47号の交通量は、1,800～4,000台/日に減少。
- ・国道47号の交通量が減少し、死傷事故も減少。

<整備効果>

【災害】

- ・2箇所の事前通行規制区間を回避し、住民の安心・安全な暮らしに寄与。

【医療】

- ・県立新庄病院への搬送時間が6分短縮し、横揺れ発生が無くなり搬送中の負担軽減。迅速な地域救急医療活動に貢献。

【観光】

- ・全線開通により、県外から最上地域の観光地へのアクセス性が向上。最上地域の観光振興・賑わい創出に寄与。

〈記者発表先〉山形県政記者クラブ、新庄新聞放送記者会、山形建設業界専門紙

〈問い合わせ先〉

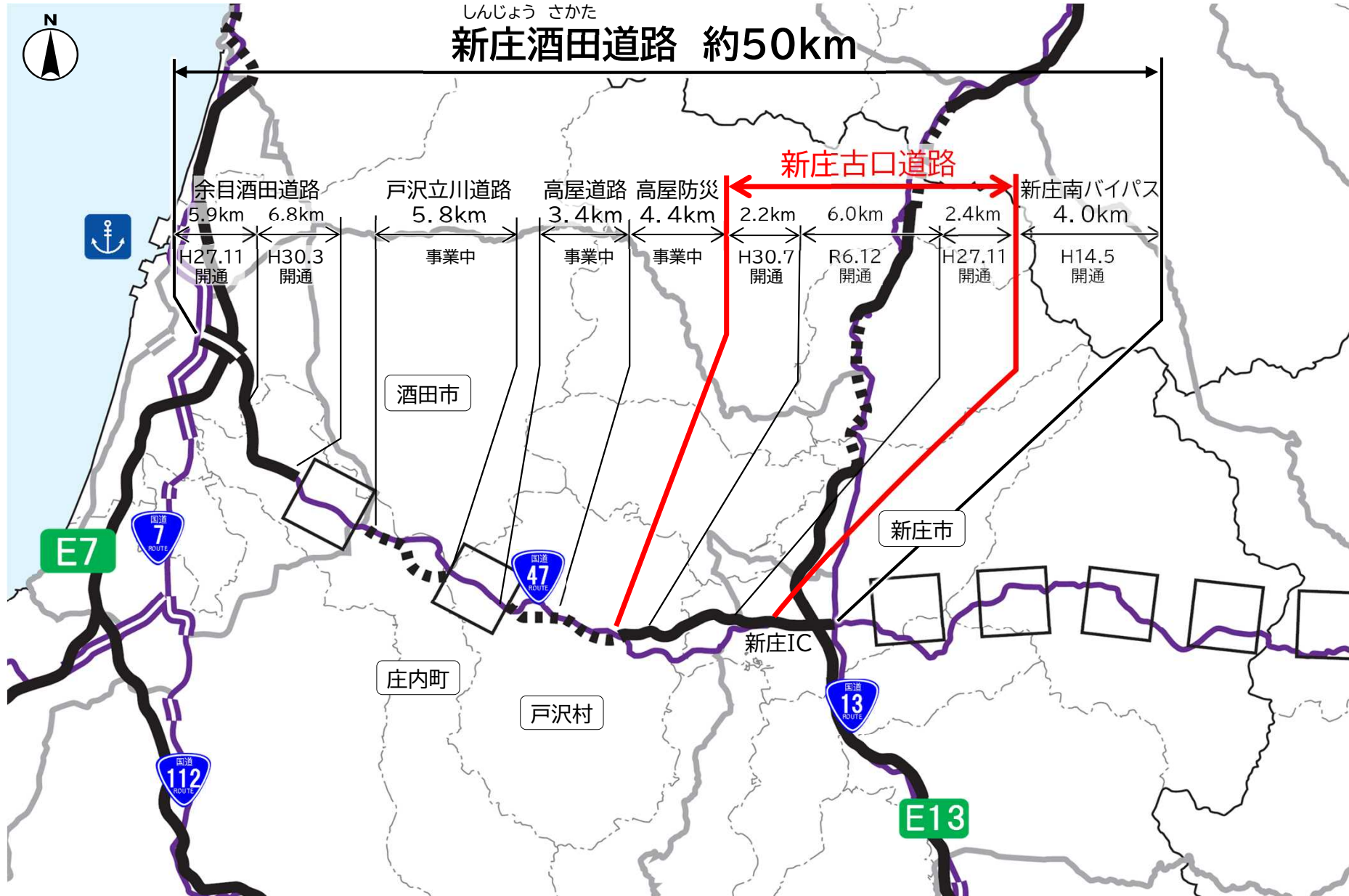
国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
電話 023-688-8421(代表)

副所長 菊地 淳 (内線205)

調査課長 杉山 義浩 (内線451)

国道47号 新庄古口道路 位置図

しんじょうふるくち

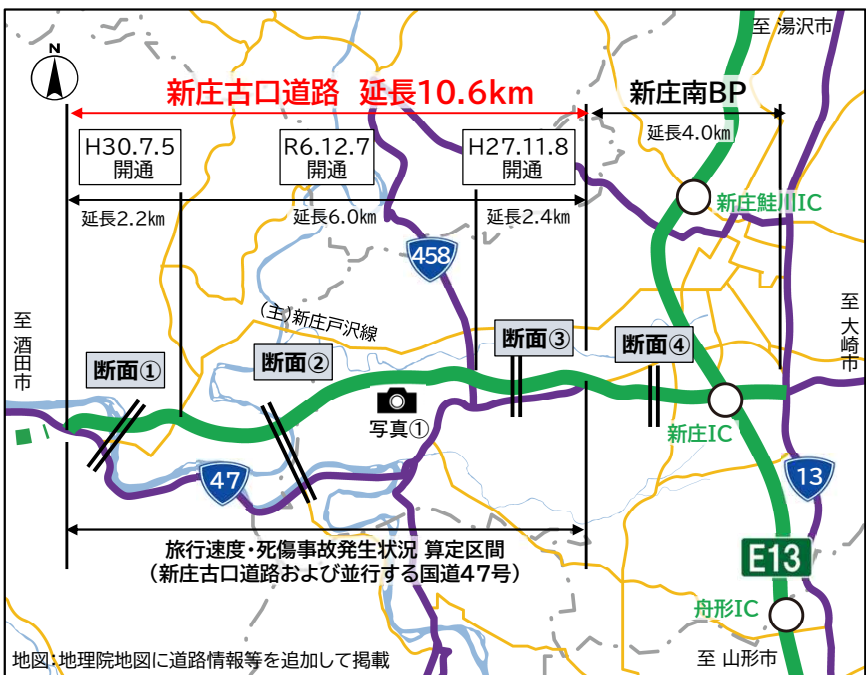


凡例	
高規格道路	
開通済み	2車 4車
事業中
調査中	□□□□
直轄国道	2車 4車 6車以上
補助国道	—

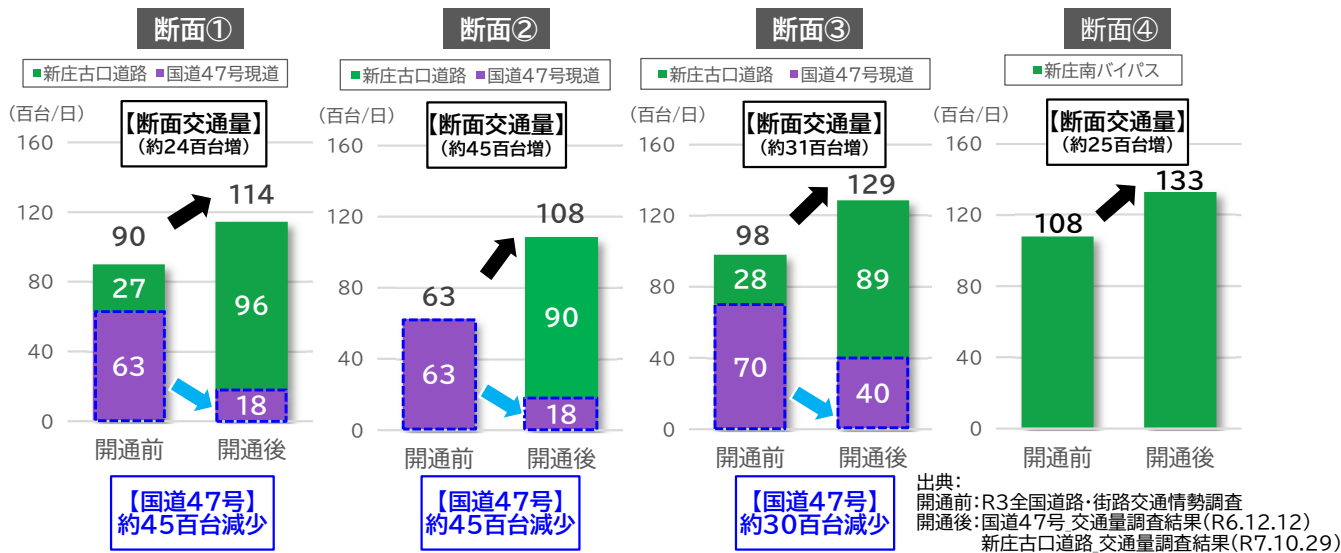
開通後の交通状況

- 新庄古口道路・国道47号の断面交通量は10,800~12,900台/日となり、全線開通前と比べて2,400~4,500台/日増加。
- 並行する国道47号の交通量は、1,800台/日~4,000台/日で3,000~4,500台/日減少。
- 国道47号の交通量が減少したことで、国道47号の混雑時旅行速度が向上、死傷事故は減少。

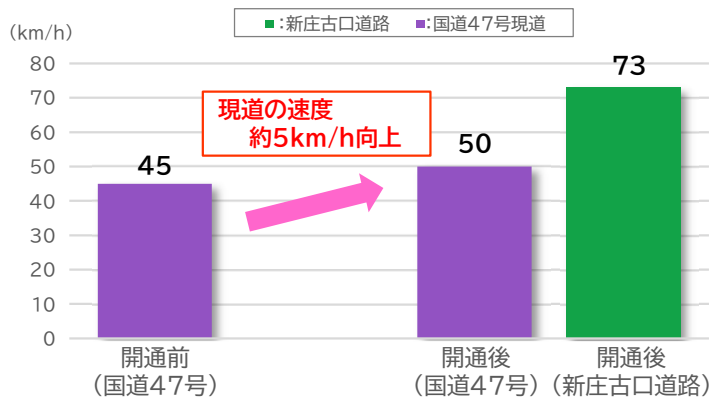
▼位置図



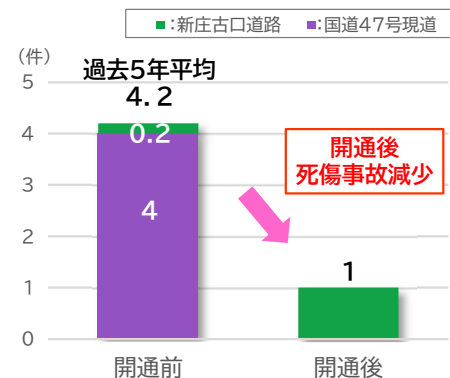
▼断面交通量の変化(全車)



▼開通前後における旅行速度の変化



▼死傷事故発生状況の変化



出典:開通前:H11全国道路・街路交通情勢調査、開通後:ETC2.0データ R7.5平日
開通前後いずれも混雑時平均旅行速度を使用
※混雑時平均旅行速度:朝ピーク時(7~9時)・夕ピーク時(17~19時)のうち、より遅いほうの平均旅行速度を採用

出典:開通前:ITARDAデータ(R2-R5)+事故原票データ(R6)
開通後:事故原票データ(R7.1-R8.1)



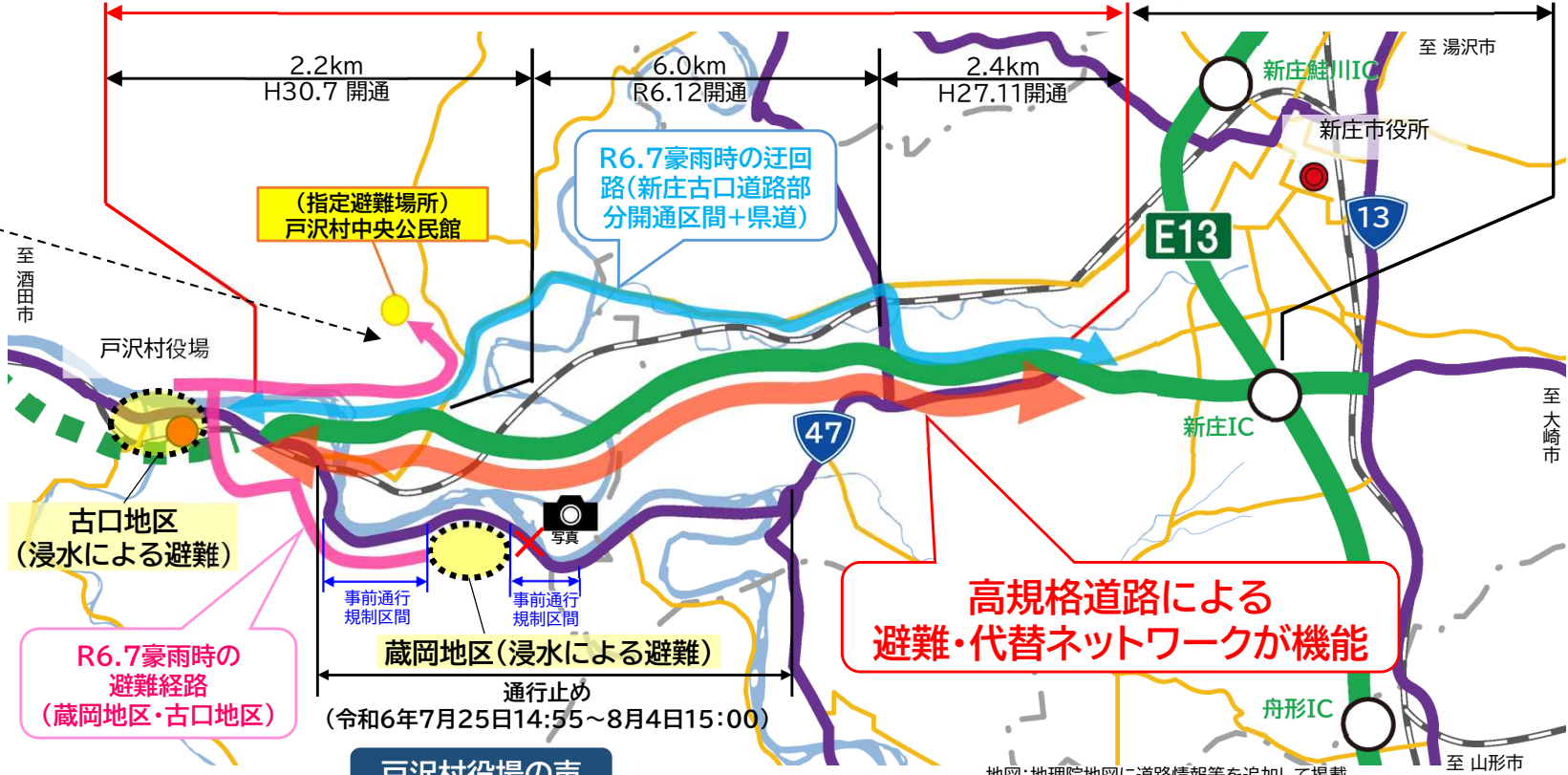
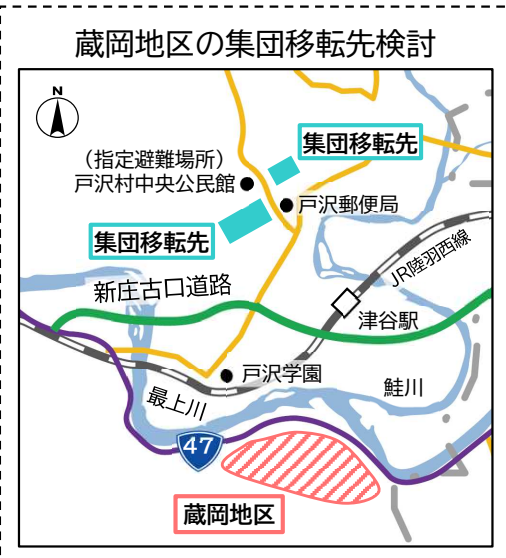
災害に強い道路ネットワークの確保

- 新庄古口道路と並行する国道47号には、大雨等による事前通行規制区間が2箇所存在し、度々通行止めが発生。
- 令和6年7月豪雨でも全面通行止めが発生したが、部分開通した新庄古口道路が避難経路や迂回路として機能。
- 戸沢村で進める蔵岡地区の集団移転先検討においても、新庄古口道路へのアクセス性が考慮されている。
- 新庄古口道路全線開通により、2箇所の事前通行規制区間を回避し、災害に強い、住民の安心・安全な暮らしに寄与。

▼新庄古口道路 位置図 R6.7豪雨 避難経路・迂回路

新庄古口道路 10.6km

新庄南バイパス 4.0km



▼ R6.7豪雨 国道47号の被害状況



新庄古口道路全線開通後
高規格道路による避難・代替路確保

新庄古口道路全線開通後
集団移転先は新庄古口道路への
アクセス性も考慮

住民の安心・
安全な暮らし
に寄与

戸沢村役場の声

- R6.7豪雨時には、新庄古口道路の部分開通区間が、蔵岡地区や古口地区の住民の皆様への避難経路として使われた他、崩落した国道47号の迂回路として機能しました。**災害に強い新庄古口道路の全線開通は、住民の安心・安全な暮らしに直結します。**
- 浸水被害の大きかった蔵岡地区の集団移転先の候補地選定においても、**新庄古口道路の位置やアクセス性が一要因**となっています。**全線開通により、災害に強い避難経路・緊急輸送路の確保は有り難いです。** 集団移転については、12月22日に第3回説明会を行い、全世帯の同意を得たので、大きな一歩を踏み出したところです。



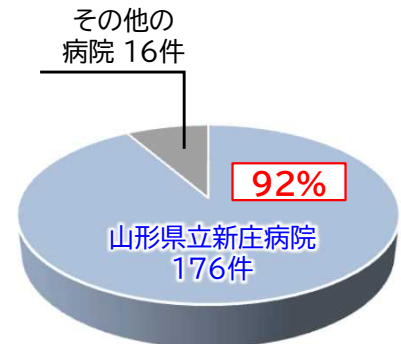
地域の医療活動を支援

- 県立新庄病院は、地域救命救急センターを有する三次救急医療施設であり、戸沢村からの救急搬送先の約9割を占める。
- 新庄古口道路を利用することで、搬送時間短縮、急カーブ箇所回避、横揺れ発生が無くなり搬送中の傷病者負担軽減。
- 新庄酒田道路の全線開通により、迅速な地域救急医療活動に貢献。

▼開通前後の搬送ルート(戸沢村役場～山形県立新庄病院)

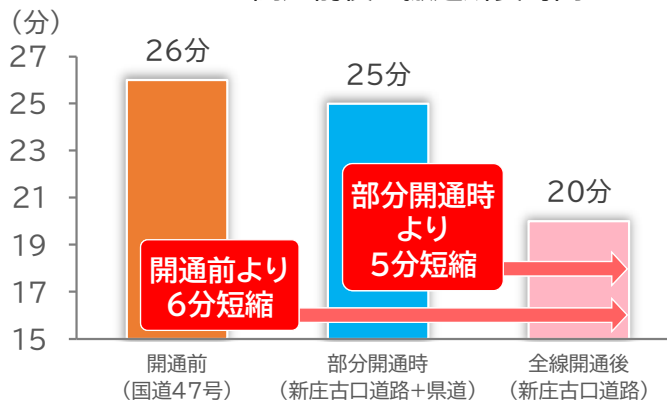


▼戸沢村の行先別救急搬送割合 (R7.1~10)



出典: R7.11ヒアリング結果

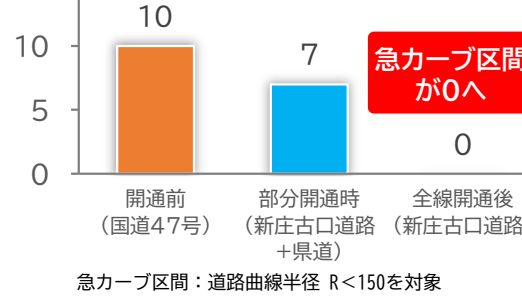
▼開通前後の搬送所要時間



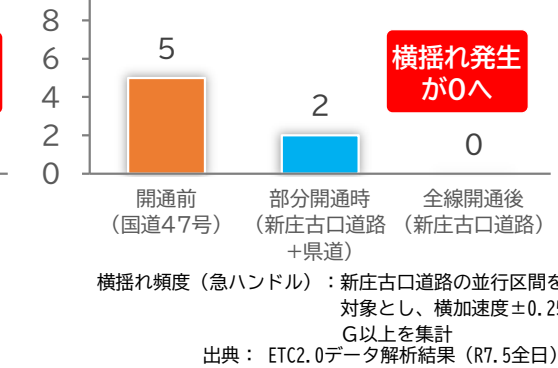
搬送時間: 戸沢村役場から県立新庄病院間とし、昼間12時間の平均速度により算出

出典: ETC2.0データ解析結果 (R7.5全日)

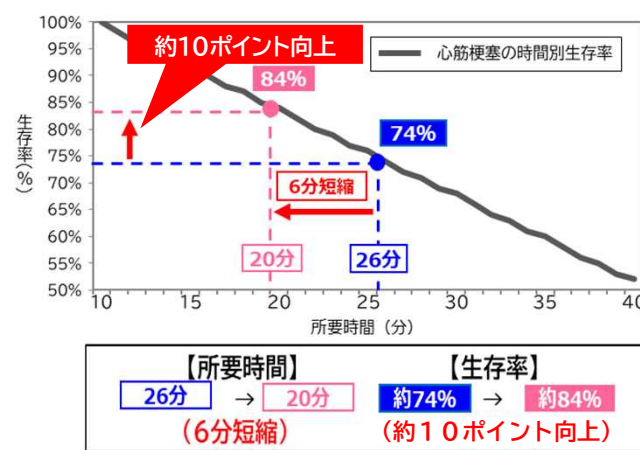
▼新庄古口道路および並行区間の急カーブ区間数



▼新庄古口道路および並行区間の横揺れ発生頻度



▼搬送時間短縮による生存率の向上(心筋梗塞の例)



出典: 道路整備による救急医療改善効果 藤本ら(交通工学 2010年9月)

新庄古口道路全線開通後
搬送時間の短縮
生存率の向上

搬送時の安定性確保
患者負担の軽減

地域の救急医療活動
に貢献

消防本部の声

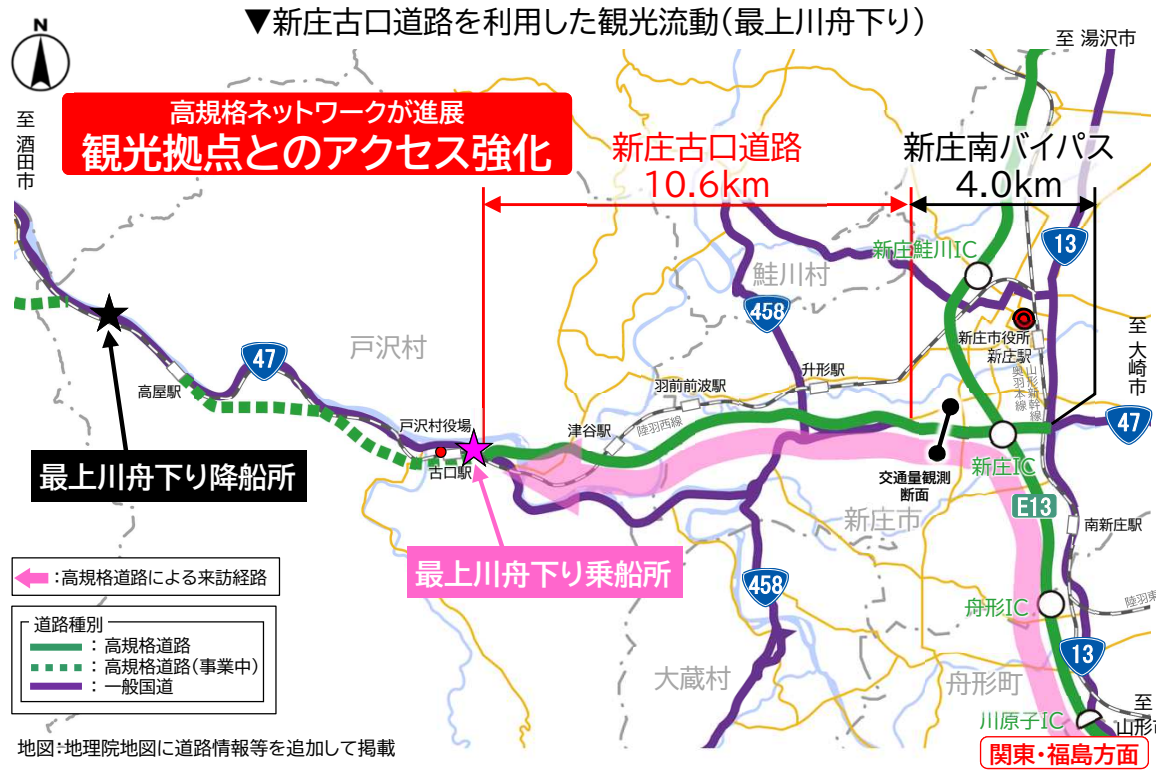
- 並行する国道47号は、急カーブが多く、傷病者への負担が懸念されており、これまでは既開通区間と県道を利用していました。
- 新庄古口道路の全線開通により、戸沢村から山形県立新庄病院への搬送時間が短縮し、救急活動の迅速化に繋がり、安定性も格段に向上しました。



出典: R7.11ヒアリング結果 3

地域の観光振興を支援

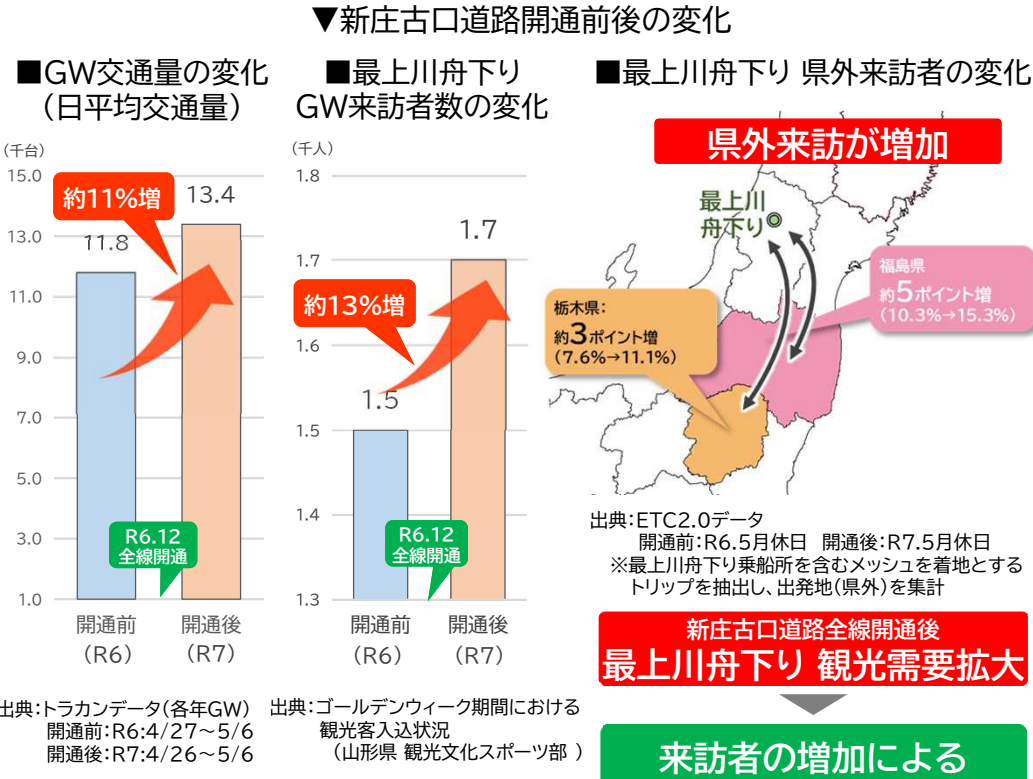
- 「プロが選ぶ水上観光船30選」5年連続第1位 “最上川舟下り” の乗船所は新庄古口道路に隣接。
- 新庄古口道路の全線開通により、高規格道路ネットワークが構築され、福島方面からのアクセス性が向上。
- 県外来訪者の増加も見られ、広域的な観光客増加により、最上地域の観光振興・賑わいの創出に寄与。



▼最上川舟下りの様子

▼最上川舟下り降船所

▼最上川舟下り乗船所



観光関係者の声

- 当社の舟下りが「プロが選ぶ水上観光船30選」部門で2026年の全国1位となり、5年連続で選出されました。新庄古口道路の全線開通により、東北中央道と合わせ、高規格道路で乗船所へのアクセス可能となりました。今回の開通が、大きな追い風になると感じております。
- 遠方からの来訪者も増えており、全線開通が要因の1つであることは間違いありません。
- 山形県東根市から無料の高規格道路を使って来れることを、社のHPにも載せており、新庄古口道路を案内(PR)に使わせて頂いております。



「プロが選ぶ水上観光船30選」
5年連続第1位



出典:最上川舟下り企業

出典: R7.11ヒアリング結果